

## 教育情報に関する連絡表

【 教育情報提供者記入欄 】		情報提供年月日	平成 28年 11月 8日	
情報提供者等	(フリガナ) 氏 名		性 別	<input checked="" type="radio"/> ① 男性 <input type="radio"/> ② 女性
	住 所	岐阜県 各務原 <input checked="" type="radio"/> 市・町・村 (郡名は記入しない。)		
	年 齢	<input type="radio"/> ① 20歳代 <input type="radio"/> ② 30歳代 <input type="radio"/> ③ 40歳代 <input type="radio"/> ④ 50歳代 <input checked="" type="radio"/> ⑤ 60歳代		
	情報の種類	<input type="radio"/> ① 意見 <input type="radio"/> ② 要望 <input checked="" type="radio"/> ③ 情報提供 <input type="radio"/> ④ 質問		
	回答の希望	<input type="radio"/> ① 教育委員会の回答を希望 <input checked="" type="radio"/> ② 教育情報のみで回答は不要		
情報のテーマ	(1テーマにつき、1枚の連絡表をご使用ください。) 子ども起業家育成講座について			
<p>先日、川島ライフデザインセンターで行われた生涯学習発表会に参加しました。たくさんのクラブサークルの実技や作品発表と併せて、「子ども起業家育成講座のお店屋さん！」が出店していました。その感想をご報告します。</p> <p>「子ども起業家育成講座」とは、各務原市教育委員会が進める「寺子屋」事業の一環で、参加した小学生が、専門家からのアドバイスや自らの学習を通して、自分たちの力で商品を仕入れ、価格設定をし、お店の運営を行います。そして、起業の疑似体験の中から、社会の仕組みや会社の仕組み、お金を得るにはどうしたらいいのかを学び、ひいては創造力や協調性、自活する力を身につけることを目的としています。お店（テント）には、市内の事業所で製造された20種類くらいの商品が展示されていました。商品の陳列されたテーブルには、子ども達の手作りのディスプレイがありました。事業所やその商品のことが、クイズ形式で楽しく紹介されていました。私が何を買おうか迷っていると、Mさんという女の子が言いました。「このこんにゃくは市内でつくられたもので、刺身にするととてもおいしくいただけます。是非お買い求めください。」と。流暢な口上に、私は思わず、「そのしゃべる内容は、お店の人に教えてもらったの？」と尋ねました。すると、Mさんは、「私の妹がお母さんにおねだりするのがとてもうまいので、それを真似しました。」とのことでした。買い物を通してこんな楽しい会話ができたのです。</p> <p>子ども達に、商品販売の手伝いをしてもらうことは、地域のイベントでよく見かけられますが、一つの商品についてこれだけ自信をもって説明できるのは、製造現場を見たり、お店の方から話を聞いたりしたことを自分のものにしていく証拠だと感心しました。仕事を通して褒められ、人の役に立っていることを実感した子ども達は、きっと自己肯定感を高めることでしょう。</p>				